

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 111	提案機関名 (一社)神奈川県園芸協会(県果樹組合連合会)
<b>要望問題名</b> ブドウの露地根域制限栽培法の確立について	
<b>要望問題の内容</b> 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 本県においても、高齢化の進展や後継者不足等により、改植や新たな有望品種への切り替えが遅れがちになっている。また、高齢化に伴い作業の簡略化が必要となっているが、既存の整枝技術では、棚上作業の簡略化は図れるものの、園内管理作業の低減はできずにいる状況である。 そこで、土壌管理作業の低減と改植時の収量低下を最小限にし、併せて環境に配慮した施肥量の低減を目的とした露地根域制限栽培法について、本県での適応性及び栽培技術体系の確立をお願いしたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	生産技術部果樹花き研究課
<b>対応区分</b>	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)			
<b>対応の内容等</b> ブドウの根域制限栽培については、関東では茨城県農業総合センター園芸研究所にて根域制限養液土耕栽培法の先進的な研究がされています。茨城県は、神奈川県と同じく火山灰土地帯であり、施設を利用した欧州種ブドウの根域制限栽培については栽培管理技術がほぼ確立し、現地へも普及しています。 そこで根域制限栽培法の県内現地への導入に対しては、他県で得られた技術情報、知見を実施農業者へ情報提供していくことで対応します。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			